



平成25年度 新年交流会開催される



平成25年2月16日土曜日午後6時より「地球会館」(豊島区西池袋1-22-8)4階宴会場に於いて、平成25年度の新年を寿ぐ「明治大学校友会豊島区地域支部・新年交流会」が本年も開催されました。

今年の「新年交流会」は昨年までの「新年賀詞交歓会」を改めまして地域貢献を更に進める為、「新年交流会」として再出発致しました。

本年も支部校友の皆様方御努力と御協力を頂き、参加者は52名を数え、盛会の内に開会されました。

又本年は2月24日曜日に「としまNPO推進協議会」主催の「第7回社会貢献活動見本市」に我が豊島支部も昨年に続き参加する事に成り、2月の幹事会で展示品作成テーマとして「被災地復興支援応援メッセージ」を新年交流会参加者の皆さんにもひと言応援メッセージを書いて頂き「応援メッセージの木」に貼り付けて完成の暁には被災地に送付する企画を立案し、会場入り口で順次思いのひと書きを書いて頂きました。

司会はドレス姿がお似合いの井上季里常任幹事が今回も務められそのパフォーマンスには全員感激していました。

三浦支部長の開会の挨拶に始まり、初参加の校友、現役学生・友人の皆様からの

自己紹介を兼ねた近況を語って頂きました。特に注目を浴びたのは、霜田常任幹事の友人でオーストラリア国アデレード市にあるアデレード大学薬学部在学し、またまた来日していたイーサン・ダッチャーさんが参加され、参加校友と英語で会話をしその友情と熱意が溢れ、国際色豊かないつときで非常に盛り上がりました。又、明治校友の皆様方御協力には感謝を受けました。

会話と懇親が深まった所で、今回のメインイベントとしてお食事と甘味「たけやま」マスターの池田 曜校友の働き掛けで実現した「明大OBマンドリンクラブ」の方々が出演されました。溝田勝彦、赤岩大輔・智子、夫妻、佐々木謙一、内田則之の各校友5人が古賀メロデーの「丘を越えて」を皮切りに学生・青春時代の数々を、約一時間にわたり演奏され参加者全員感激・感動の態でした。

引き続き、三森副幹事長主導の「ジャンケン大会」が行われ、景品は「東日本大震災」被災地の品物を三森幹事長の提供品と共にジャンケンの勝者10数名の校友に渡されました。ジャンケンの最中、参加者皆様の顔色は真剣そのもので非常に盛り上がりしました。

最後に、恒例の参加者全員に依る明治大学校歌の大合唱を、橋爪常任幹事の指揮のもと、全員肩を組んで池袋の夜に轟かせ、新年交流会はお開きとなりました。

(文責：白砂正人幹事長)

お店紹介

校友会 豊島支部の会員の方の
お店を紹介するコーナーです。



商学部・商学科 平成8年卒

細田 健介

豊島区池袋で不動産業を営む有限会社青木商事の細田健介です。当社は、自社物件と近隣の家主様よりご依頼いただいた賃貸物件の仲介と管理を主な業務としております。

もともとの家業は、私の祖母が1947年より池袋西口駅前で菓子店を営んでおりました。菓子店当時のエピソードとしては、当時流行していたダッコちゃん人形にお菓子を抱かせて販売し、大ヒットを飛ばしたという逸話を聞いております。

その後、菓子店の店舗や従業員寮の建物等を管理するため、1985年に不動産会社として当社は開業致しました。当時の代表は私の母でしたが、実務経験が無いまま起業したため、当初は少ない自社管理物件を少しずつ増やしていくことも苦労したと聞いております。また、池袋という都内有数の歓楽街に店舗を構えたため暴力団関係者と思われる客の対応に戸惑うことも多く、同業の諸先輩方の助言などで対応してきたそうです。



有限会社青木商事
〒171-0014 東京都豊島区池袋2-61-8
TEL.03-3986-9800

昨年、2012年10月に母から事業を譲り受け、私 細田健介が代表となりました。モットーは「常に笑顔で、人には誠実に接すること」です。趣味は読書と音楽鑑賞です。読書では推理・SF小説も好きですが、歴史小説からは今も昔も変わらない大切な事を学ぶことができるため愛読しております。音楽は30代になってからライブの楽しさを知り、小さなライブハウスから大きなコンサートホールまで色々と回るようになりました。

仕事でもプライベートも自転車で行き回っているため、池袋で一番早い不動産屋との異名をもらいました。今は走ることにしていますが、今後は仕事も一番早いと言われるようになりたいと思います。

まだまだ若輩者ではありますが、社業の発展を通じて地域・業界そして社会に寄与することができるよう全力を尽くす所存です。よろしくお願いいたします。

東京六大学野球春季リーグ戦日程表

第1週	4/13(土)	東大-法大	立大-慶大	大東大-早大	慶大-立大	早大-東大
第2週	4/14(日)	慶大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大
第3週	4/20(土)	早大-東大	東大-法大	法大-慶大	慶大-立大	立大-早大
第4週	4/21(日)	明大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大
第5週	4/27(土)	法大-慶大	慶大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大
第6週	4/28(日)	明大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大	慶大-立大
第7週	5/4(土)	法大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大
第8週	5/5(日)	東大-慶大	慶大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大
第9週	5/11(土)	早大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大
第10週	5/12(日)	東大-明大	明大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大
第11週	5/18(土)	法大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大	慶大-立大
第12週	5/19(日)	明大-慶大	慶大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大
第13週	5/25(土)	明大-法大	法大-慶大	慶大-立大	立大-早大	早大-東大
第14週	5/26(日)	東大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大
第15週	6/1(土)	早大-慶大	慶大-立大	立大-早大	早大-東大	東大-法大
第16週	6/2(日)	慶大-早大	早大-東大	東大-法大	法大-慶大	慶大-立大

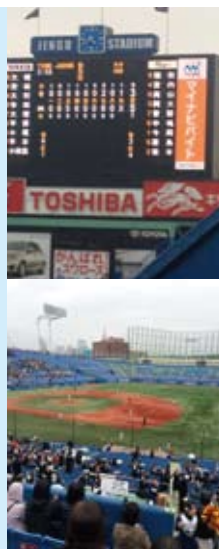
■会場：明治神宮野球場
試合開始時刻 11:00 (※は10:30)、13:00

豊島支部六大学野球観戦
我が明治大学野球部、開幕戦白星スタート
4月20日(土) 平成25年度東京六大学野球春季リーグ戦1回戦(神宮球場) 明治対立教に豊島支部有志が集いました。

少し肌寒さも感じる気候の中、ついに明治の春季リーグ戦が開幕しました。試合は大勝を期待した私たちの気持ちとは裏腹に接戦となりましたが、終盤に得点を重ねた母校明治5対3で競り勝ちました。

いよいよ明治の戦いが幕を開けました。緒戦は快勝とは行きませんでした。豊島支部の皆さんの応援で勢いに乗りたいところです。

島倉さん、三森は毎試合いる予定です。皆さん応援に来てくださいね！



行事予定

◆『暑気払い』

日時：平成25年8月3日(土)

18時〜

場所：ホテル第一イン

豊島区東池袋1-42-8

◆『平成25年度総会・懇親会』

日時：平成25年11月10日(土)

18時〜

場所：豊島区勤労福祉会館

豊島区西池袋2-37-4



明治魂を伝える



「明治魂と起き上がり小法師」

昭和47年法学部卒
板橋 光一



写真上：左から2番目が板橋氏。
写真右：起き上がり小法師



「起き上がり小法師」は、両親の田舎である福島県会津地方に400年前から伝わる郷土玩具の一つで、何度倒しても起き上がる事から「七転び八起き」の不屈精神を表しておりますが、その精神と明治魂が共通しているのではないかと日頃から思っておりますが、改めて本稿を書く機会を頂いた時、両親から受け継いだ私のDNAの中に明治魂の種があったような気がしました。

明治との関わり合いは、昭和37年明治大学付属明治中学校に入学した時から始まり、今年で50年と半世紀になります。つまり私の人生の大半は明治と共にと言っても過言ではないと思います。特に、中学・高校・大学と多感な時期に「質実剛健」・「独立自治」の明治魂が醸成され現在の私の精神的なバックボーン(精神的支柱)になっております。また、行動する上での規範にもなっております。

青春時代に培った“明治魂”が、その後の二転三転した私の人生において、何度も勇気づけてくれて何とか現在に至っていると思っております。

具体的には、大学時代は、丁度、学生運動が過激な時代で、学校閉鎖で授業も休講となり大学に行かない日が続いた時でしたので、学生運動に縁のない、いわゆるノンポリ学生は青春を謳歌しておりました。私の場合、父が商売(家具・インテリア商品の卸小売業)をしていた関係で、その手伝いに没頭した4年間でした。

通常ですと、卒業してから何年か同業他

社で修行してから家業に戻るのが普通かと思いますが、父が病気がちでしたので、そのまま家業を継いで経営に関わるようになりました。しかし、父の病気は回復せず、残念ながら私が25歳の時に他界(享年57歳)してしまいました。いきなり会社の代表として、従業員10名程の会社を経営することになった次第です。

しかし、経験不足は否めず、会社継続は諦め、脱サラではなく脱社長でサラリーマンとしてコンピュータ業界に転身しました。何故コンピュータ業界を選んだかと言うと、当時はまだコンピュータは今ほど一般的ではなく大企業や先進的な企業が導入した時代で新しい業界でしたので中途入社ハンディもなく実力本位で評価されるだろうと自分なりに考えこれから勉強しても十分に追いつくだろうと考えた訳です。また、従来の安定した業界より変化の激しい新しい業界へのチャレンジが、チャンスが大きいのではないかと考え選びました。そのような発想をし行動に移すことができたのも『明治魂』とは無縁ではないと思います。

その後、何社かIT企業を転職したり、また脱サラをしてIT会社を起業したりしましたが、自分を大きく成長させてくれたのがIT業界の先駆けで東証一部上場企業の現SCSK株式会社のグループ会社でのマネージャー時代だと思っています。その経験が活かされてJASDAQ上場企業の子会社で情報通信系会社の代表取締役や

JASDAQ上場IT企業の取締役を務めさせて頂きました。

本年5月で64歳になりましたが、相変わらず新しいことにチャレンジしております。一社は、昨年5月に元同僚が創業したビッグデータ活用・分析支援サービスの会社。もう一社は、全くの異業種ですが、縁ありまして日本成長戦略の一つにもなっています。再生医療分野の会社に関与しております。

また、我が三浦支部長が提唱しております「地域に役立つ校友会」に少なからず感化されたと思っておりますが、高齢者、特に判断能力が衰えた方々をサポートする目的で設立されたNPO活動にも微力ですが参加させて頂いております。

知人、友人の多くはハッピーリタイアをして夫婦で優雅な第二の人生をエンジョイされている方もいますが、私の場合は、妻には申し訳ありませんが何時になるかわかりません。

以上のように、これからも“明治魂”を胸に前へ前へと挑戦し続けていきたいと思っています。

結びとして、若い人たちに人気のSEAMOのラップ曲「Continue (コンティニュー)」の歌詞の好きな部分で締めたいと思います。

勝つか負けるかじゃなくて
やるかやらないんだよね
どんな夢でもかなえる魔法
あきらめないこと・・・



『第7回・社会貢献活動見本市&交流会』参加報告

みらい館
大明賞
受賞



り出しました。会場では高野区長も我々が明大校友会のパネル前で立ち止まり三浦支部長、白砂幹事長の説明をお聴きになり、区長自ら被災者へのメッセージを書いて貼り付けて下さいました。

本年の「明大校友会豊島支部新年交流会」にご参加の方々は既に「存じの通り、会場の地球飯店の壁に貼ってあったあの素敵な大判の絵、そうです「復興応援の樹木の絵」です。

今回は我が明大出展作品は、優秀出展団体として「みらい館 大明賞 現金一万円」を獲得することが出来ました。

これも、復興支援への思いと、デザインと印刷の専門家である当会員の島村武史君の彼の作品自体が素晴らしかったことと、沢山の方々のメッセージを頂戴できたことに対し、審査員の評価が集まり高い評価を得た様である。

三浦昭生支部長は「来年も出展し、今度は最優秀賞 三万円の獲得を目指すべく、今後も復興支援と地域貢献活動を続けて行こう」と力強く語っておられました。見本市にご参加下さいました、校友の皆さまお疲れ様でした。

(文責：柳田好史幹事)

2月24日(日)に開催された『第七回・社会貢献活動団体見本市&交流会』(豊島区制80周年記念事業に、我が「明治大学校友会豊島区地域支部」も昨年に引き続き、出展参加しました。

今回の出展に当たっては、3月11日東日本大震災の「復興支援応援メッセージ」を大判用紙に印刷し、そこに来場者からも応援メッセージを書いて戴き、被災地現地に届けるという出展内容をテーマとし会場のパネル一面に大判で張

